

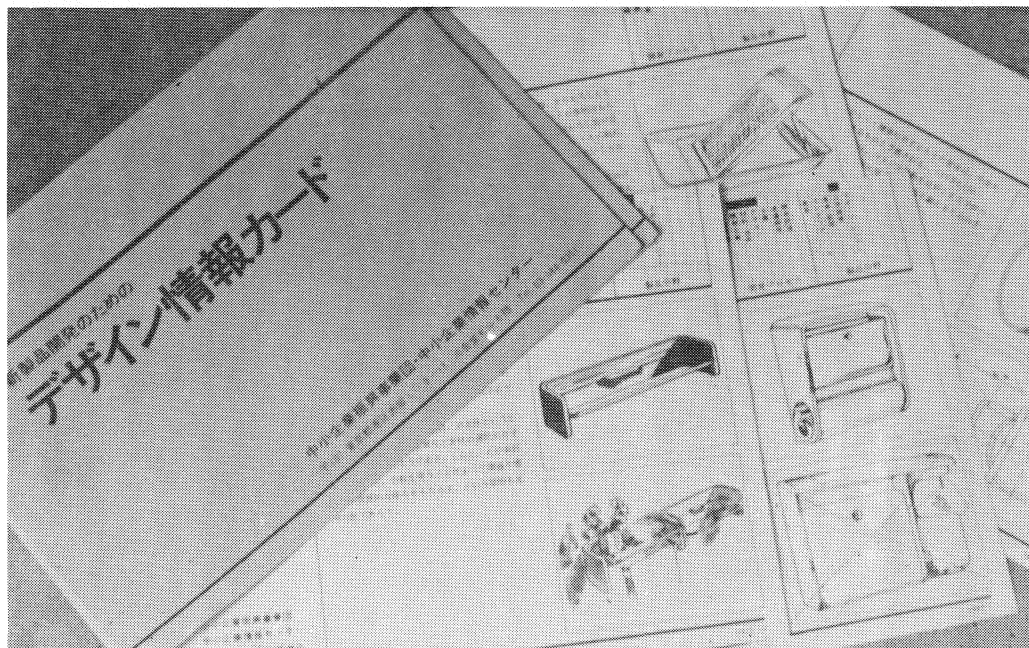
昭和55年4月6日発行

岐阜県の プラスチック

スポット

- 「クンストstoffェ”79」
視察報告“第3報”
- 消防講習会開かる
- プラ成形用金型、射出機、
プラ材料の54年生産実績

第36号



当工業組合では岐阜県工業技術センター・工業デザイン室と

デザイン情報カードを連載 —新製品開発の有効資料に—

タイアップして、デザイン開発を進めるための資料「デザイン情報カード」を1年間にわたり本誌(36号~41号の6回)に掲載し、組合員各社の製品開発能力を高める参考資料として提供する。

このデザイン情報カードは中小企業振興事業団、中小企業情報センターが発行しているもの

で、背景・基礎・具体の3つの情報に区分されている。

本誌では、この資料の中からプラスチック関係企業における新製品開発に有効な資料を選択して、毎号2ページにわたって「製品デザインの事例」を紹介することになった。これらの件についての問い合わせは当工業組合事務局にしていただきたい。(関連記事として2面に具体的説明、3~4面にデザイン情報カード)

岐阜県プラスチック工業組合会報

デザイン情報カード

背景・基礎・具体の3情報に分類

岐阜県プラスチック
デザイン協会

この事業は、中小企業振興事業団、中小企業情報センターが、中小企業において不足していると思われる製品開発能力を高めるための参考資料にさせていただくことを目的として、デザインの専門機関である（財）日本産業デザイン振興会の協力を得て実施されている。

そして、この情報は地場産業の製品開発に役立つと思われる資料を抽出、分析し、利用しやすいカード形式に要約され、昭和54年10月より、地域情報センター、公設試験研究機関などに毎月、約200枚が送られている。

情報カードの内容は、背景・基礎・具体の3つに分類されている。

① 背景情報

「背景情報」は、製品の改善、開発の前提となる生活、産地、市場の動向、消費生活等の背景資料で、経営、管理、開発に資することを目的としている。

② 基礎情報

製品開発を進めるために必要な情報は、生産、販売、そして消費という広範な企業活動に関連するが、「基礎情報」は、デザイン開発を進めるために必要と考えられる基礎的な情報を各種文献・資料等から抽出し、作成されている。

昭和54年度は、「デザイン開発の方法」「品種別デザイン動向」、「デザイン開発、改善の事例」などが基礎情報の中心である。とくに、「基礎情報」は、当事業団の提供する「経営情報」、「技術情報」と併せて利用

することにより、その効果を高めることができる。

③ 具体情報

「具体情報」は、企業が製品のデザイン開発を進めるにあたって直接参考となるような具体的な製品デザインの事例を紹介するもので、開発の要点を示すキーワードと、スケッチ、写真等を中心に簡潔な解説を付したものである。

具体情報にとりあげられる商品例は、開発の要点を解説するために取材されるもので、意匠権の尊重、保護について格別の配慮を必要とするものであることはいうまでもない。

具体情報中心に提供

これらの情報カードは、各プラスチック関係企業における新製品開発のデザイン力向上に有効な資料になると思われるが、基礎情報及び背景情報については、54年10月に発足した岐阜県デザイン振興会が55年度より計画している「岐デ振ニュース」に掲載される予定もあり、本誌においては具体情報を中心に当組合員に特に有益と考えられるものを選択し、提供するものである。

なお、選択は岐阜県工業技術センター・工業デザイン室で行なうので、詳しい情報カードの利用方法、選択内容のご要望等は、当工技センター・工業デザイン室に問い合わせるか、又は組合へ連絡していただきたい。

(岐阜県工業技術センター・工業デザイン室提供)

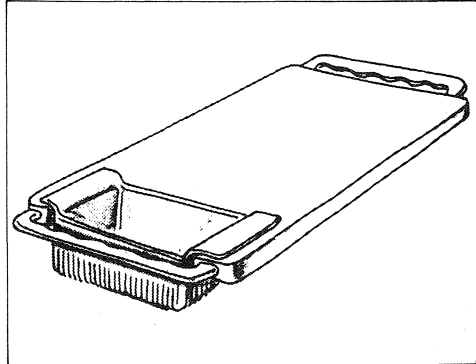
デザイン情報カード

No. 1

797058 使い方の流れを考えたデザイン — 水切りカゴ付まな板

まな板の端に水切りざるをつけ、切ったものをすぐにざるへ移せるアイデア。ざるは取り外せる。ふたつの機能の組み合わせも、このように作業の流れに一貫性がある場合は無理がなく、便利な工夫といえるし、構造上、製造上、共に特に難しい点はない。

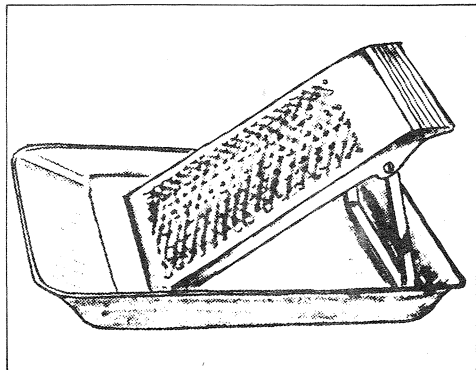
在来のものを組み合わせて新製品とするのは最も簡単な思いつきであるだけに、必然性がないと結局、どちらの機能も中途半端に終り、永続する商品にはなり得ない。



797060 単品追求で片手おちにならないように — おろし器

チーズや野菜をすりおろす時、すりおろしたものを受ける皿は必ず必要である。この事例はおろし器と受け皿がセットされ、普段はおろし器が受け皿に納まっているというものである。(その納め方も、おろし歯を下側に向けてしまうという方式である。)

申しわけ程度の受け皿をおろし器の先端に付けるより、この事例にあるように機能を十分に考えたデザインが大切である。

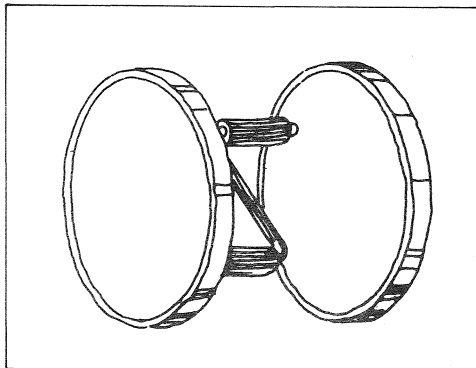


797115 有望なレジャー健康関連商品 — バランス遊具

レジャー・健康に対する人々の要求は、今後大いに高まるものと予想される。(799020)

この事例は、バランス運動を目的とする子供の遊具だが、子供に限らず、筋肉を鍛えるための予備運動具として最適。

大きさは36cm×36cm。



デザイン情報カード

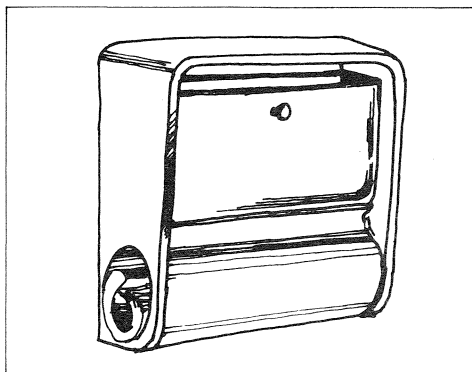
No. 1

797332 屋外の小さな設備にもデザインを — 郵便受け

家庭用のポスト（新聞・郵便受け）には、入れにくく、取り出しにくいハコが多く、これは……
 と思うようなスマートなデザインは、なかなか見当らない。

ここに紹介する2つの事例はドイツのものだが、新聞と郵便受けを一体にまとめたもので、耐候性にすぐれたポリウレタンを使い、機能面の検討が充分になされ、全体がきれいな曲線でまとめられている。

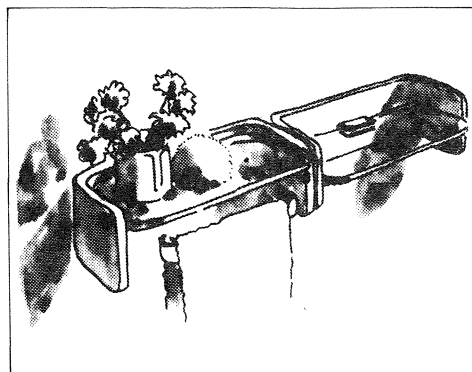
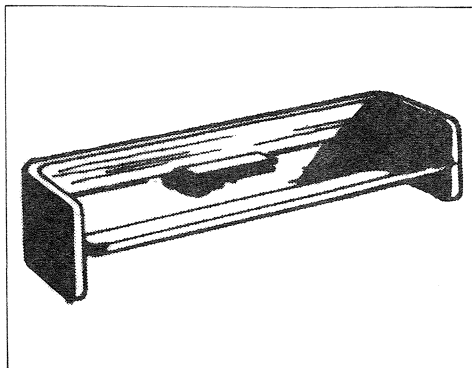
商品開発は家の中だけでなく、このようなアウトドア用品にも気を配りたいものである。

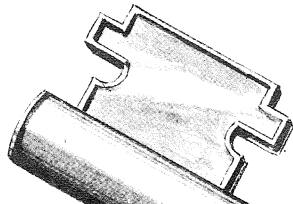


797064 環境にふさわしい素材の選択 — サニタリーウェア

この事例は、「Poligmo」シリーズという水まわり用品の1つで、ミラノのVeca社製である。合板をコの字形に曲げ、厚手のガラスをアルミではさんで留めてあるという簡素な構造で、タオルハンガー付、ソープトレイ付等がシリーズ化されている。

これらサニタリーウェアは、対水性ということからプラスチック、金属など素材の選択が自ずと限定されているようである。しかし、この事例でみるように、合板を使うことによって環境や雰囲気視覚的な暖みをもたらす、という展開も充分可能であろう。





ニーズに適確に
こたえることで
未来の扉をひらきます

産業や生活のあらゆる分野で、便利さや快適さを生みだしているプラスチック。このすぐれた特性をコントロールして、繁栄のためによりよく活用しなければなりません。信越ポリマーはプラスチックを主な素材として、各種の製品を多角的に開発、生産、販売しています。一方、これらの製造や流通のプロセスにあたっては、安全や環境の保全にも十分配慮し、時代と社会のニーズにこたえる新しい価値づくりを進めています。

新しい素材を価値あるものに

 信越ポリマー

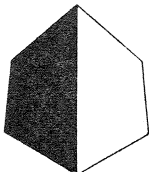
名古屋支店 名古屋市中村区名駅4丁目27番23号 (新名古屋ビル)

信越P.V.C.

塩ビは信越……と評価されている理由

●信越化学は系列の日信化学と合わせ、量・質ともにトップメーカーです。
原料から一貫生産を行ない、常に新タイプの開発にとりくんでいます。応用面の研究も充実しています。

●グループの一翼である信越ポリマーを通じて需要家のニーズを品質に生かします。
●工場の1つに、130M'の大型重合器を備えコンピューター操作による最新鋭工場を有しています。



Shinetsu

信越化学

本社 東京都千代田区大手町2-6-1 電話(03)242-1211(大代表)
名古屋支店 名古屋市中村区名駅4丁目27番23号 (新名古屋ビル)
電話代表 581-6511

Aachenプラスチック加工研究所 基礎応用・開発中心に研究教育

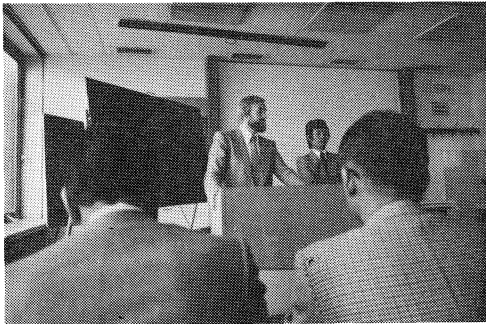
欧州の研究機関と研究開発の方向

これまで2回（34号、35号）にわたってご紹介した県工業技術センター高分子科長関谷裕彦氏の西ドイツで開かれた「クンストstoff'79」の視察報告第3報として、今号は欧州のプラスチック研究機関の概要とその方向をお話していただいた。

欧州の研究機関では、西ドイツのAachenプラスチック加工研究所を視察した。

同研究所はダルムシュタットのドイツ高分子研究所と並ぶ西ドイツ高分子研究所の中心的存在で主にプラスチックの加工、試験、応用のすべての分野において研究教育を行っていた。

主な目的は「未来の技術者に理論と実践的活動によって高分子工学に関する総括的概念と合成高分子工業に対する工業的指導力を養成すること」である。また主な



研究所内で説明をうける視察団一行



西ドイツのAachenプラスチック加工研究所

研究活動はコンパウンディング、成形加工、応用（設計、溶接等）、試験、自動化（押出し、射出、フィラメントワインディング）、計測によるコンピューター導入など、特に押出部門における研究（新しいスクリュウの概念、スクリュウ内溶融現象、混練効果、架橋、ブローの品質制御など）、ウレタンなどの発泡成形、複合材料の研究などに力を注いでいる。

研究所のシステムは(1)プロフェッサー(2)発明、特許(3)専門学科の3部門にわけられ、研究の課題は政府から開発依頼を受け、発明特許の部門でグループを作り研究開発している。

予算は政府が30%、民間会社が30%、工科大学が10%、学生が5~6%、その他の構成で運営しており、半官、半民の形であった。このうち人件費は全体の予算の49%~67%を占め、研究費は30%~40%となっている。人員の構成は工科大学の学者75名、研究所は300名で、日本の工技院の試験所と同程度である。

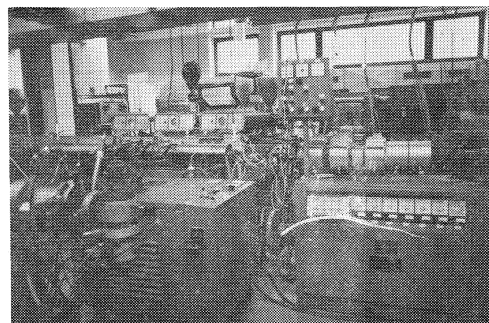
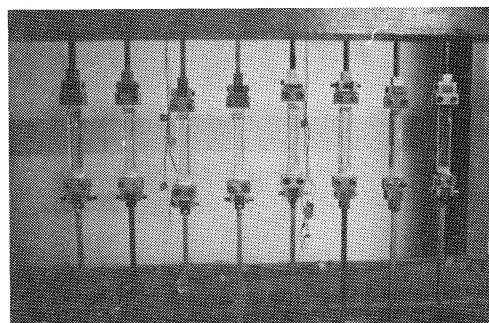
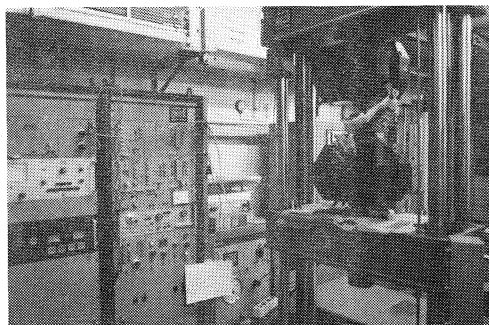
試験設備は1946年にヒトラーが作った防空壕をそのまま利用し、環境温湿度の変化の少ないところで耐久性(クリープ性等)を中心に力学的試験などを長期的に行っている。

この研究所はデュッセルドルクからパリーに向けて約1時間の学園都市で緑の多い静かな環境がいかに印象的であった。

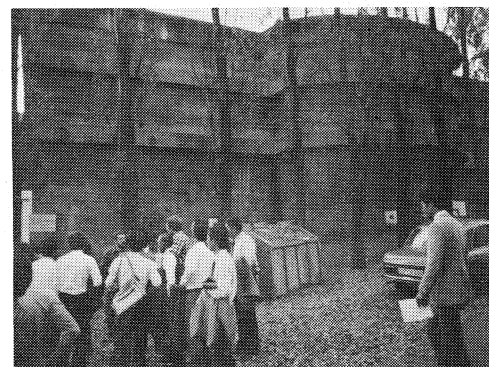
プラスチック産業の研究課題

製品開発は関連企業との共同研究が主流であったが、西ドイツの有名材料メーカー・バイエルはプラスチック産業の研究課題として①高品質の材料構造部品に使用できる新しい材料の開発②共重合、ブレンド、グラフトまたは強化によって既存材料の性能改善③省資源、省エネルギーの新しい生産方法の開発④原材料の新しいリソースの探究⑤リサイクリングなどをあげていた。

最後に欧州の製品開発指向は日本のイミテーションコピーによる過当競争の激しいのに比較して、オリジナリティが強く合理性に富んでいる。また、そのプロセスは前述のようにユーザー、モルダー生産者、その他関係者が共同で開発するシステムが確立されている。そのため他の企業との過度な価格競争も少なく健全な企業が多い。このような企業体質だから企業人は自信に満ちあふれ、夢を持って仕事をしているのがうかがわれた。



①からプラスチック材料の強度試験装置。
クリープ試験。押出実験装置。



ヒトラーが作った防空壕、今は試験室。

染料 }
工業薬品 } 販売
合成樹脂 }

山田化成株式会社

取締役社長 山田正水

本社 〒101 東京都千代田区内神田2丁目8番4号
TEL (03) 256-7861(代)
名古屋出張所 〒460 名古屋市中区丸の内3丁目13番18号(サワニビル)
TEL (052) 961-6591(代)

UL-94-V0 認定材料

自己消火性樹脂

JSR NF94
JSR NC100

日本合成ゴム株式会社 本社/東京都中央区築地2-11-24 TEL(03)541-4111・名古屋支店/TEL(052)571-1231

全国業界ニュース



◎金型生産は最高の573億円◎

54年のプラ成形用金型の生産実績は、組数で前年比6.9%増の18,610トン、金額では18.9%増の57,377百万円となり、プラ金型の大型、精密化傾向が一段と明らかになった。

金型工業会がまとめた54年のプラ成形用金型生産実績は、重量、金額とも過去最高の実績となったが、55年の見通しは原油の高騰からくるプラ材料への見直し気運も予測される。

◎昨年の射出機(金額)過去最高◎

日本プラスチック機械工業会は、このほど通産統計を基に昨年1年間のプラスチック加工機械生産実績をまとめた。それによると、射出成形機生産は前年比19.6%増で、過去最高の昭和48年の8,971台に次ぐ7,665台となったものの、金額では前年比30.7%増で、過去最高の48年の58,822百万円に比べ19.8%増の70,516百万円と最高を記録。

一方、押出成形機の実績は前年比12.1%増

の1,097台で、金額は前年比3.5%減の12,620百万円となった。

プロ成形機生産は前年比1.1%増の288台で、金額は同3.8%増の3,671百万円。

カレンダー、真空・圧空成形機、発泡成形機の生産は前年比49.7%増の274台、金額が同15.5%増の3,856百万円となった。

◎プラ材料生産実績 昨年は820万トン◎

日本プラスチック工業連盟がまとめた昨年1年間のプラスチック材料の生産実績によると、材料生産量は約820万トン(対前年比21.5%増)で、過去最高を記録した。

内訳は熱硬化性樹脂が約166万トン(対前年比8.7%増)、熱可塑性樹脂は大幅伸長の約654万トン(同25.3%増)である。

◎東芝機が超大型射出機完成◎

東芝機械では、このほど経済性、操作性、安全性を特に重視した型締力5,000トン、射出量28キロの世界最大の超大型射出成形機「IS5000DN-400」を完成した。

同成形機は、ソーラシステムに使われる太陽光線を集光するためのアクリル樹脂の超大型レンズを世界に先がけて射出成形により製造することを目的として製作していたもの。

出光

の石油化学製品

◎取扱品目 中低圧ポリエチレン
ポリプロピレン
ポリスチレン
カルブ®
高圧ポリエチレン
ポリカーボネート



出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-3111
名古屋営業所 名古屋市中区錦1-17-13(名興ビル) 〒460 ☎ 052-231-8611



岐阜県プラスチック工業組合は2月27日午後1時から岐阜産業会館5階第3会議室で「消防講習会」を開いた。

これは4月1日から消防法施行令の一部改正

によって合成樹脂類が特殊可燃物に指定されて防火設備が義務づけられるため、専門家を講師に招き、法令上の基準などについて知識の向上を図ろうということで行われたもの。

当日は岐阜県消防防災課係長の松久一郎講師による「貯蔵、取扱い基準」など説明のあと、質疑応答に移り、続いて「プラスチック工場における防災とは」をテーマ

にA I U 顧問名越助廣講師が講演。最後に映画「ジェルマビルの惨事」が上映され、火災の恐しさを目のあたりにみて、新ためて火災予防に対する認識を深めるなど有意義な講習会だった。

「全国生活用品見本市」開く

— メーカー110社が2万点展示 —

名古屋市、生活用品振興センター共催の「全国生活用品見本市・名古屋'80」が2月26日27、28の3日間、名古屋駅前の愛知県中小企業センターで開かれた。

会場には地元の東海地区はじめ関東、関西のメーカーなど110社が参加、1、2階全フロアを使って日用品、レジャー用品、新製品、アイデア商品など2万点近く展示された。



また、99コマに及ぶ一般展示コマとは別に出品企業110社の新製品を展示する特別コマが設けられ、流通関係業者の注目を集めていた。



秋元産業株式会社

本社 東京都中央区八重洲5の7
 名古屋営業所 名古屋市中村区米屋町2(埼玉ビル9F)
 TEL <052> 582-5071

三菱油化株式会社

取締役社長 黒川久

本社 〒100 東京都千代田区丸の内2丁目5番2号(三菱ビル)
TEL (03) 283-5689(代)

名古屋支店 〒450 名古屋市中村区名駅3-28-12(大名古屋ビル5階)
TEL (052) 563-5641(代)



伊藤忠商事株式会社

名古屋支社 化学物産部合成樹脂課

名古屋市中村区笹島町1丁目223番地(名鉄バスターミナルビル)
電話 名古屋 (052) 583-(2481~2486)

ポリエチレン

スミカセン®

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

エバテート®

ポリプロピレン

住友ノーブレン®

ポリスチレン樹脂

エスブライト

塩化ビニル樹脂

スミリット®

メタアクリルシート

スミペックス®

メタアクリル樹脂

スミペックス-B®

高密度ポリエチレン

スミカセンハード®

熱可塑性エラストマー

住友®TPE

合成ゴムSBR

住友®SBR

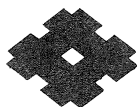
合成ゴムEPR

エスプレン®

エチレン酢酸ビニル

塩化ビニル共重合樹脂

スミグラフト®



住友化学工業株式会社

名古屋支店 〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)
電話 <052> 201-7571

将来、多角経営で業容拡充へ

川瀬樹脂



川瀬保雄代表 今号の工場訪問は、岐阜プラスチック協同組合の会計理事を担当する川瀬保雄さんが経営する川瀬樹脂を訪問した。工場は安八郡神戸町瀬古281-3。工場内では東洋機械金属の射出成形機10オンス2台と6オンス2台の合計4台が昼夜兼行で、卓上製品など日用品雑貨を量産している。

竹細工にみ切りをつけ転業

川瀬さんがプラスチックに取り組み始めたのは、11年前の昭和44年9月。それまでは祖父の代から受け継がれてきた竹細工業を営んでいたが、プラスチック製品の進出に押されて、竹細工製品の市場シェアが大幅に縮小してきたため、将来のことを考え、このプラスチック成形加工への転業に踏み切った。

発足当初は購入資金510万円で10オンスの成形機1台を設置し、岐阜プラスチック工業の下請工場として出発。その後は川瀬さんの持ち前のがんばりと竹細工業当時のお得意さんからの注文もあって、業績は順調に伸びており、現在では下請製品5割、自家製品2割、その他3割の割り合いで、すっかり軌道に乗っている。

人件費削減で現状を乗り切る

川瀬さんの工場は従業員8人。このうち奥さんと息子さんも従事して一家総出動だが、「電力料金や原材料など一連の値上がりでコスト高が回避できないのだから、これをカバーする意味でも人件費の削減など経営の合理化で対処しなくてはなるまい。とにかく、うちのような小企業では家族ぐるみで働らき、企業努力しないことには生き延びていけません」というわけ。

そんなわけで、設備投資もいましばらく見送って様子を見たいとのこと。

最後に川瀬さんは将来の構想について「現在の日用品雑貨の成形加工では自ずと限界があるので、さらに飛躍を期すためにも工業部品の分野に乗り出してみたい」と結んでいる。

TOSHIBA

東芝機械株式会社

本社 東京都中央区銀座4丁目2-11
名古屋営業所 名古屋市中村区名駅4丁目7番23号
化工機課 TEL <052> 561-8341



あ明し日た葉ば

今日切り取っても明日は再生しているとの意から、明日葉と呼ばれる。セリ科の大形多年草。わが国暖地の海浜に生じ、葉は大形の羽状複葉、ウドに似て光沢があり、淡緑色。非常に強壯で発育が速い。葉と茎は食用となる。

純国産無公害エネルギー“天然ガス”を原料に求め、モノマーからポリマーまでのメタクリル一貫生産メーカーとして、世界の五指に数えられる協和ガス化学工業。
用途に合わせた高品質素材を安定供給するため“天然ガス”を大切に使っていきたい。

メタクリル樹脂・注型板

パラグラス[®]

メタクリル樹脂・押出板

コモグラス

メタクリル樹脂・成形材料

パラペット[®]



協和ガス化学工業株式会社

本社 / 〒103 東京都中央区日本橋3-8-2 新日本橋ビル ☎(03)277-3174
大阪事務所 ☎(06)345-3901 / 名古屋営業所 ☎(052)951-6396
福岡営業所 ☎(092)711-1530 / 仙台営業所 ☎(0222)66-1525



生きてる素材。 三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂 / 板状品

アクリライト[®]

メタクリル樹脂 / 射出成形材料

アクリペット[®]

ABS樹脂

ダイヤペット[®] **ABS**



三菱レイヨン

東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711

日精はお応えします。

コストダウン・品質の向上・省資源の成形に…

コストダウン・品質の向上・省資源がますます要求される今日。より高度な技術力、柔軟な開発姿勢で対処していかなければなりません。日精は豊かな技術力と実績とによって、モルダのあらゆるご要望にお応えしています。付加価値の高い成形は、日精の成形機こそが、お役に立つことをお約束します。

NISSEI 1歩進んだ射出成形機をおとどける
日精樹脂工業株式会社

本社・工場 長野県坂城町 ☎(02688)2-3000(大代) 〒389-06 名古屋営業所 ☎(052)732-0261(代)
岐阜出張所 岐阜市西部4962-1(西ビル) ☎(0582)72-5952

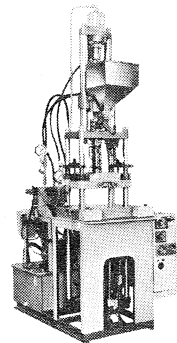
さんじょうの射出成形機!!

精密工業部品、インサート成形に特に適した機械と定評を頂いております。

射出量5グラム(1/4オンス)より600グラム(20オンス)までの各機種を製作いたしておりますので、用途に合わせてご用命下さい。

— 営業品目 —

- 熱可塑性樹脂及び熱硬化性樹脂、ゴム用射出成形機
- ロストワックス用ワックス成形機、ワックス溶融装置、保温装置
- 液状原料用射出成形機、注入機、混合脱泡機
- セラミック用射出成形機
- 当社射出成形機用金型
- その他関連装置



●カタログご希望の方は紙名ご記入の上お申込み下さい。
—成形機・金型・関連装置を社内一貫生産している専門メーカー—

日精 山城精機製作所

本社	東京都板橋区弥生町32番地	TEL(03)	972-0561(代)
業務部・工場	埼玉県川口市中青木2丁目18-21	TEL(0482)	51-6156(代)
名古屋営業所	名古屋市北区楠町味鋳政所28番地	TEL(052)	901-5861番
大阪営業所	TEL(06) 443-3771(代)	八王子出張所	TEL(0426) 51-7144番
九州営業所	TEL(092) 571-2740番	小倉出張所	TEL(093) 471-1079番
前橋営業所	TEL(0272) 52-0733番	城南出張所	TEL(03) 776-2254番
広島出張所	TEL(0822) 32-2785番	沼津出張所	TEL(0559) 22-9610番

事務局
だより



気料金の値上げなどプラスチック業界の取巻く経済環境の悪化に対応するため、『プラスチック業界の動向とこれからの経営のあり方』といったテーマで大松理事長より最新の業界・経済の情勢を聞いた後、参加者全員のデスクッションを行い、皆様の知恵を出し難局を乗り越え岐阜県のプラスチックをますます発展させようというものです。当日は多数のご意見や組合の要望などご発言をお待ちいたしております。詳細については後日ご通知いたします。

□アジア・ゴムプラスチック国際見本市の
参加申込メ切迫る□

組合創立10周年記念行事の一環として5月26日よりシンガポールにて開催される同見本市の視察団を派遣いたします。すでに昨年暮頃に皆様にご案内をし日程はご理解いただい

□55年度通常総会日程
決る□

今年度の総会は来る5月9日(金)10時30分より岐阜産業会館5階第1会議室(組合事務所の階上)で開催することが3月役員会で決りました。

この総会では決算予算の審議の他、特に原材料や電

りますが、シンガポール3泊、バンコック2泊の中で同見本市の視察をはじめとして観光も充分楽しんでいただける旅行です。旅費についてはご案内の時点から半年もたち航空・ホテル等の値上りもあり1人につき179,000円になりましたが、期間中の全食付の格安な団体料金です。参加を希望される方は至急4月15日までに組合へお申込み下さい。

□会報の原稿募集について□

会報を充実させるため、組合員の皆様から『ずいひつ』『工場訪問』そのほか紹介記事を募集しています。また、ご意見をお聞かせ下さい。

岐阜県のプラスチック
1980 36号

昭和55年4月5日印刷

昭和55年4月6日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番1号
(岐阜産業会館内)

電話(0582)72-7173

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 大松幸栄

編集 岐阜市大黒町3丁目5番地

電話(0582)47-7231

中部パブリシティセンター

三菱化成のエンジニアリング プラスチックス

ナイロン樹脂

NOVAMID

ポリカーボネート樹脂

NOVAREX®

PBT樹脂

NOVADUR

中低圧ポリエチレン

ポリエチレン **NOVATEC NOVATEC-L**

高圧ポリエチレン



三菱化成工業株式会社

本社：東京都千代田区丸の内2-5-2・三菱ビル
電話 03(283)6111(大代表) (〒100)



リスのプラスチック



今、新しい テーブルウェアの たび だち 出発。

ノーブル(英語)とは“高貴”という意味、その名にふさわしいテーブルウェアとして、リスの一貫したデザインポリシーから生まれたメタクリル樹脂の最高級品です。

Noble
ノーブル

岐阜プラスチック工業株式会社

本社 岐阜市神田町9丁目25(大岐阜ビル6F) TEL<0582>65-2233(代)
稲羽工場 岐阜県各務原市前渡東町3620 TEL<0583>86-9311(代)
支店 東京・大阪・名古屋・福岡 営業所 高松・広島・仙台・札幌・宇都宮